

高温・少雨が続いています。最後まで登熟の進む水管理を行いましょう！

1 水稻の生育

m²あたり穂数は、「はえぬき」ではバラつきが多いものの概ね平年並みで、「つや姫」ではやや多くなっています。

1穂籾数は、「はえぬき」「つや姫」とも、平年並みからやや多くなっており、m²あたり籾数も「平年並みからやや多い」状況です。

穂揃期調査結果（置賜地域）

		出穂期 (月日)	主稈葉数 (枚)	穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒)	m ² 籾数 (百粒)	葉色
はえぬき	本年	8月7日	12.6	546	72.0	393	34.9
	前年	8月6日	13.0	533	73.2	390	34.5
	平年	8月7日	12.9	557	70.2	390	35.8
	平年比	±0	-0.3	98	103	101	-0.9
つや姫	本年	8月12日	12.1	461	72.8	335	32.3
	前年	8月13日	13.0	431	72.5	312	31.3
	平年	8月12日	12.9	453	71.9	325	31.4
	平年比	±0	-0.8	102	101	103	0.9

2 気象情報

高温に関する警戒情報（8月28日仙台管区气象台発表）

9月2日頃からの1週間は、気温が平年より高くなる確立が30%以上
7日間の平均地域平年差+2.2以上

3 登熟期の管理

高品質米を生産するために、出穂後30日までは可能な限り間断灌水を続けます。

出穂後30日前に用水の通水が止まる地区では、通水が終わる前に入水してほ場に水を溜め、出穂後30日までほ場が湿った状態を維持しましょう。

品種別落水時期の目安

品 種	出穂期	落水時期
ヒメノモチ	8月 3日	9月 2日
あきたこまち	8月 4日	9月 3日
ひとめぼれ	8月 6日	9月 5日
はえぬき	8月 8日	9月 7日
つや姫	8月13日	9月12日
コシヒカリ	8月13日	9月12日

4 刈り取り時期の判定

出穂は平年並みでしたが、出穂後は気温が高く経過しており、また今後も高温傾向が続くと予報されていることから、刈り取り時期は早まる見込みです。

刈り取り時期は、出穂後の積算気温を目安に、以下の点を確認して、総合的に判断します。

- 1 青籾歩合 (15～20%)
- 2 枝梗の黄化(2/3以上)
- 3 籾水分(25%以下)



出穂後日積算平均気温による刈り取り時期の目安

(アメダス高島: 本年値 8月28日まで)

品 種	出穂期	積算気温 ()	刈取時期の目安	青籾歩合 (%)
ヒメノモチ	8月 3日	950～1050	9月11日～ 9月15日	15
あきたこまち	8月 4日	950～1100	9月12日～ 9月19日	15
ひとめぼれ	8月 6日	950～1100	9月15日～ 9月22日	15
はえぬき	8月 8日	950～1200	9月18日～ 10月1日	20
つや姫	8月13日	1000～1200	9月27日～ 10月9日	15
コシヒカリ	8月13日	1000～1200	9月27日～ 10月9日	15

5 乾燥・調製

収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風を行い、やけ米の発生を防ぎます。

乾燥は、籾水分が20%以上の場合には毎時乾減率0.8%程度、20%以下の場合には毎時乾減率0.6%程度で行い、品質の低下を防ぎます。

肌ずれ米の発生を防ぐため、籾すり前に、乾燥終了後5～7日後の籾温が室温の+5以下、かつ玄米水分が適正(15%)であることを確認します。脱ぷ率80～85%になるようにゴムロールの間げきを調整し籾すりします。

良質米生産のために、1.90mm以上の網で選別します。

コンバインや乾燥機の掃除は丁寧に！！

刈り取りシーズン前や刈り取り期間中に品種が変わる際は、異品種混入が生じないように、コンバインや乾燥機の掃除を丁寧に行いましょう。

あせるな・きもむな・農作業安全

コンバイン作業時は、巻き込み事故に注意しましょう。籾等の詰まりが生じた際は、必ずエンジンを停止してから、除去しましょう。

より安全・安心な農産物を生産するために確実に栽培記録簿を記帳し、GAPチェックシートを記入し、自己点検に努めましょう。